

平成 30 年 10 月 13 日

一般社団法人全国医学部長病院長会議
会 長 山下 英俊（山形大学医学部長）
大学医学部入学試験制度検討小委員会
委員長 嘉山 孝正（山形大学参与）
出席委員
宮園 浩平（東京大学医学部長）
渡邊 卓（杏林大学医学部長）
相原 道子（横浜市立大学附属病院長）
黒岩 敏彦（大阪医科大学教授）
守山 正胤（大分大学医学部長）

報道関係者 各位

公平・公正な医学部入試の在り方の検討について

平成三十年度の東京医科大学の入試において、長い間女性の受験者等に対して一律で不正な点数操作を行っていたことが明らかになりました。

このことが契機となり、文部科学省が実施した調査において、東京医科大学以外の複数の大学においても不適切な事案があるとされています。

また、改正医療法・医師法の附帯決議でも記されているとおり、入試方法の改善による地域枠学生の確実な確保も課題となっています。

従って、現在実施されている文部科学省での追加調査も含め、実態を把握するとともに、

1. 性別、浪人年数、内部進学、地域枠等様々な入学枠に関する公平性の考え方
2. 募集要項等受験生への事前の情報提供の在り方

等について、大学の自浄作用のひとつとして、国民に理解をされる公正・公平な入試制度を実現するため、自主的に検討を行うよう全国医学部長病院長会議において「大学医学部入学試験制度検討小委員会」（委員長 嘉山孝正山形大学参与）を新設し、検討を始めることと致しました。日本の大学医学部は、一般社団法人日本医学教育評価機構（JACME）による医学教育分野別評価の認証評価を受けている最中であり、本課題には厳粛に取り組む所存です。

本日第1回を開催しました。今後、速やかに全国医学部長病院長会議として入試のあり方の考え方及び規範をお示しし、更に、年度内には、議論を取りまとめる予定です。

以上